

電波利用状況の実地調査について

H 2 2 . 1 . 2 2

伊東 晋

1. 概要

我が国におけるホワイトスペースの利用可能性を把握するため、総務省や関係機関と協力し、国内のいくつかの都市・地域における電波の利用実態について実地調査（測定）を行い、測定結果に基づき分析を行う。

2. 測定方法

総務省総合通信局の電波監視システムを利用した測定も実施するほか、スペクトラムアナライザ^{注1}を利用し、以下の条件において電界強度^{注2}を測定する。

注1：幅広い周波数にわたる電波について、周波数ごとに電圧レベルを表示する機器

注2：電波の強さを表す際に用いられる値

(1) 周波数

90MHz～3000MHz について一定の周波数帯毎に、終日同一の場所で測定。

(2) 測定場所

地理的条件による電波伝搬特性への影響を考慮し、都市部（都市中心部、都市近郊部）、山間部、臨海部、瀬戸内地方及び近隣諸国からの影響を受ける地域として6箇所程度の場所を選定。

3. 測定結果等に基づく分析

実地調査（測定）の結果や周波数の現在の割当状況等を踏まえ、我が国におけるホワイトスペースの利用可能性について分析を行う。

4. スケジュール

平成22年1月	実地調査開始
2～3月	測定結果とりまとめ・分析 検討チームに報告